

# 有難や高野の山の岩蔭に

## 大師はいまだ在しますなる

慈鎮和尚作

新年、明けましておめでとございます。檀信徒の皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。旧年はロシア軍のウクライナ侵攻をはじめ、安倍元首相銃撃事件やエリザベス女王御逝去など、悲しいニュースが多く、激動の一年だったように感じます。私達が普段通りの平穏な日常を過ごすことが出来ているということは、とても有り難いことなのだと思えて実感する一年でした。本年も皆様が健やかな一年を過ごせますようお祈り申し上げます。



### 詠歌講習会受講

私事ですが、旧年高野山大師教会で行われました「詠歌青年教師養成講習会」という御詠歌の研修会に参加させていただきました。

高野山真言宗教師がお唱えします御詠歌は、金剛流御詠歌といひ、明治時代に曾我部俊雄大和尚の尽力によって完成された流派であります。講習会では、全国から集まりました十三名の詠歌教師により、前期・後期それぞれ一週間の研修期間にて、研鑽の毎日をご過ごさせていただきました。

御詠歌とは、成仏道の一つであり、単なる歌ではなく、仏教への深い信心からくる想いを、詠歌として仏様に奉納するものであり

ます。お唱えするときには、心に仏様を思い浮かべ、口に仏様の言葉（詠歌）を唱え、身体に仏様の行為（詠歌所作）を表現することで、所謂、真言宗の教えである「三密（身・口・意）」の修行をしているのです。

現在はコロナ禍ということと、宗団としても御詠歌の活動を行うことが難しい状況です。ただ、此度の講習会で、全国の詠歌教師と繋がりが持つことが出来ました。そこで、コロナが落ち着きましたら、何かの機会に皆様が御詠歌に触れられる機会を作りたいと考えておりますので、いましばらくお待ちいただけます。



→ 高野山奥の院（中の橋）

## しめ縄作り

十二月四日、上長尾公民館にて新年に向けたしめ縄作りが行われました。中村信徒総代会会長様をはじめ、信徒総代・檀家総代の役員の皆様が朝から集まっていた、新年飾りの用意を行いました。（左写真）



↑ しめ縄作りの様子

新年飾りとして、観音堂に飾るものをはじめ、計四本のしめ縄を作っていただきました。今年度は役員の皆様が変わりましたので、慣れない方もいるなかでの作業

となりりましたが、無事立派なしめ縄が完成しました。（左写真）



↑ 完成したしめ縄

完成したしめ縄は、総代の皆様に、再度お手伝いいただき、松飾りと共に飾り付けをされ、無事新年を迎えることが出来ました。

例年の事ではありませんが、これだけ大きなしめ縄を作り、また、それらの飾り付けをする作業はとても大変な仕事です。檀信徒の皆様には毎度ご尽力いただき誠に有難い限りです。今後とも当山平福寺を一緒に守っていただけるよう、宜しくお願い致します。

## 今回のお言葉

今月号のお言葉は、天台宗比叡山延暦寺座主であられた慈鎮和尚（じちんわじょう）が読まれたお歌であり、『高祖弘法大師第一番』の御詠歌になっています。

ご入定されたお大師様は、現在と未来の二世にわたって私達をお守り下さっています。その有難いお姿を肉眼で拝したいと一念発起された慈鎮和尚は、延暦寺から高野山奥の院まで来られて、三日三晩断食行を行います。そして三日目の最後の行が終わったまさにその時、眼前にお大師様のご入定のお姿が写し出されました。即身成仏を遂げ、生身大日如来となったお姿を拝し、感激された慈鎮和尚が読まれたのがこのお歌であります。このお歌が第一番の御詠歌になっている事は、お大師様のみ教えが、一宗一派にこだわらず、宗派を超えて信仰されている事を物語っています。

## 年間行事

- 一月 厄除け祈願大祭
- 三月 春季彼岸会・涅槃会
- 四月 研修旅行
- (阿字の子会主催)
- 五月 春季例祭・大般若会
- 七月 高野山参拝旅行
- 八月 夏季例祭・大施餓鬼会
- 九月 秋季彼岸会
- 十二月 二年参り

## お知らせ

- ・墓地分譲中
- ・傳燈館予約受付中
- ※ホームページまたはお電話にて申し込みいただけます。
- ☎〇二六三三七七二四二五

## ホームページ

下のQRコードよりサイトに移動できます。※周りの方に広めて頂けたら幸いです。

